



2022年2月10日

各位

会社名 G - F A C T O R Y 株式会社
代表者名 代表取締役社長 片平 雅之
(コード： 3474 東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役管理本部長 田口 由香子
(TEL. 03-5325-6868)

特別利益の計上及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社グループは、2021年12月期第4四半期連結会計期間（2021年10月1日～2021年12月31日）において、下記の通り特別利益を計上するとともに、2021年12月23日に公表いたしました2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の通期連結業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益について

臨時休業等助成金収入の計上

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症に対する政府及び自治体からの各種要請等を踏まえ、要請期間において店舗の臨時休業及び営業時間の短縮を実施してまいりました。これに伴い、2021年12月期第4四半期連結会計期間（2021年10月1日～2021年12月31日）において、政府及び自治体から支給を受けた新型コロナウイルス感染拡大防止協力金、雇用調整助成金等を臨時休業等助成金収入として、特別利益に258百万円計上しております。

2. 業績予想の修正について

(1) 2021年12月期 通期連結業績予想の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	3,590	△61	△66	184	28.44
今回実績 (B)	3,641	△9	△14	292	45.26
増減額 (B - A)	51	52	52	108	
増減率 (%)	1.42	—	—	58.70	
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	3,963	△9	△12	△229	△35.54

(2) 修正の理由

2021年12月23日付け公表の通期連結業績予想では、当第3四半期連結累計期間の実績及び当第4四半期連結会計期間の見込みを反映しておりましたが、当第4四半期連結会計期間は、経営サポート事業、飲食事業、共に見込みを上回る結果となりました。

経営サポート事業においては、想定を上回る物件情報サポートの案件を獲得することができました。飲食事業においては、緊急事態宣言等が解除され、通常営業に戻り、想定を上回る集客となったほか、ベトナムの新店「名代 宇奈とと」2号店においても想定を上回る集客となりました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止協力金等の助成金に関して、2022年12月期に受給を見込んでいたもののうち一部が2021年12月期の受給となりました。

以上